

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年2月20日

計画の名称	1 自然・歴史的景観保全・活用の推進														
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)					交付対象	京都市								
計画の目標	歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区内において、必要な土地の買入れ及び「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づく植栽等や、急斜面対策など適切な施設整備を行い、歴史都市・京都における良好な自然景観の保全と再生を図る。														
計画の成果目標(定量的指標)	①現状変更行為の不許可処分に伴う買入れ申出のあった歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区内の土地の買入れを進めていく。 ②「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づいた美しい自然景観の保全と再生。 ③歴史的風土特別保存地区内の買入れのうち、危険性のある急斜面地において、適切な施設整備を行う。														
定量的指標の定義及び算定式											備考				
											当初現況値 (H24末)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)		
① 公有地化した面積を計測する。											287.3ha	291.6ha	292.9ha	・1-A-1, 1-A-2	
② 施設整備(植栽等)面積を計測する。											2ha	6.5ha	9.5ha	・1-A-1	
③ 所管地における急傾斜地の延長を計測したもの(現況値)のうち、対策を講じる必要のある箇所について施設整備(土砂崩壊防止施設等)を実施する。											3,560m(工事延長)	3,600㎡	7,200㎡	・1-A-1	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,438 百万円	A	2,425 百万円	B	0 百万円	C	13 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.5%			
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期									
本市において評価を実施						平成30年6月(決算後)									
						公表の方法									
						本市ホームページにて公表									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	都市公園・緑地等	一般	京都市	直接	京都市	古都保存事業	土地買入A=3.4ha 施設整備(植栽, 防災施設, 園地整備等)	京都市						1,440	
1-A-2	都市公園・緑地等	一般	京都市	直接	京都市	緑地保全等事業	土地買入A=2.5ha	京都市						985	
									合計					2,425	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
									合計						
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	都市公園・緑地等	一般	京都市	直接	京都市	林床整理事業	森林に健全な光環境をもたらすための適切な間伐や、天然の新芽や稚樹を鹿の食害から守るための防鹿柵の設置等	京都市						7	
1-C-2	都市公園・緑地等	一般	京都市	直接	京都市	地域主導型推進プログラム	地域主導による森林景観保全・再生の推進に向けた仕組み作りの構築	京都市						6	
									合計					13	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-C-1	1-A-1と一体的に実施することにより、「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づいた森林景観づくりを推進し、良好な自然景観の保全と再生を促進することができる。														
1-C-2	1-A-1と一体的に実施することにより、「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づいた森林景観づくりを推進し、良好な自然景観の保全と再生を促進することができる。														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った事業を実施し、歴史的風土特別保存地区及び特別緑地保全地区の公有地化、緑化面積及び急傾斜地の法面整備による自然・歴史的景観保全が適切に行われた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 公有化用地達成 値	最終目標値	292.9ha	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間内において買入れた歴史的風土特別保存地区及び特別緑地保全地区の面積は5.9haであり、計画的に買入れ事務を進めた結果、最終目標値を上回ることができた。 ・計画期間内において実施した森林再生の整備面積は9.3haであり、計画的な事業進捗に努めた結果、最終目標値を概ね達成することができた。 ・計画期間内において対策を講じた急傾斜地の整備面積は7,200㎡であり、地形に応じた効果的な整備手法による対策を実施した結果、最終目標値を達成することができた。
		最終実績値	293.2ha		
	指標② 植栽（緑化）面 積達成値	最終目標値	9.5ha	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	9.3ha		
	指標③ 急傾斜地対策に 係る施設整備の 達成値	最終目標値	7,200㎡	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	7,200㎡		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・Iの効果により、地域住民や各活動団体等と協働で森林景観づくりに取り組み、地域主導型の管理計画を策定した。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後も、歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区内において、必要な土地の買入れ及び「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づく森林再生や森林の維持管理に必要な管理道整備など適切な施設整備を行い、歴史都市・京都における良好な自然景観の保全と再生を図っていく。</p>					